

能登半島地震を振り返る

地震から1年

奥能登から見た地震と被災者生活そして復興へ

主 催:大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター

共 催:大分県、大分市

日時

令和 7 年 1 月 13 日(月・祝)

10:00~12:00

会場

J:COMホルトホール大分

3階 大会議室

参加無料

申込不要

第一部 減災・復興デザイン教育研究センター および大分大学附属病院 能登半島地震に関する調査研究・支援活動について(10:00~10:40)

助 教 岩佐 佳哉 「能登半島地震で何が起きたのか」

助 教 福田 昌代 「住民から見た避難生活と支援」

講 師 三崎 貴弘 「石川県能登町でのマルチハザード被害と自律型ロボットを用いた避難者支援」

教 授 下村 剛 「医療者の目から見た能登半島地震」

(医学部附属病院災害マネジメント総合支援センター長・減災センター次長)

休憩・会場準備(10:40~10:50)

第二部 パネルディスカッション 奥能登から見た地震と被災者生活そして復興へ(10:50~12:00)

(パネリスト)

本谷 未央

石川県輪島市 町野町住民

池崎 万優

石川県能登町 Mayung Design

小川 勝則

石川県能登町 能登町住民課長・(一社)新村新友会

下村 卓也

生活協同組合コープおおいた 常勤理事・組織支援本部長

首藤 圭

大分県生活環境部 防災局長

鶴成 悦久

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長・教授

(ファシリテーター)

福田 昌代

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター 助教

松永 鎌矢

NPO法人リエラ 代表

お問い合わせ先 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター

☎ 097-554-7333

✉ cerd-office@oita-u.ac.jp